



北九州市立石峯中学校 学校通信
令和7年 7月18日 No. 7
発行責任者 校長 本田壽志
学校所在地 若松区今光1-12-8
TEL 791-1225 FAX 791-1226



夏休み 家族と一緒に計画を立てよう



以前、学級通信にこんなことを書いたことがありました。

そもそも、暑くて暑くて勉強にもならないから夏休みがあるのでしょう。だから、全く校長先生の個人的意見ですが…夏休みは休養し、遊ぶためにあるのだと考えています。病気の治療、家庭での家族の一員としての生活、長期にわたる計画の実行、色々ありますが、健康でよく遊び、よく手伝い、みんなと仲良くというのが基本です。

それなら「宿題が多いー」という声が聞こえてきそうですが、中学生であるみなさんの勉強を40日近くもほっておくわけにはいきません。2学期にまっさらでは困ります。そうならない為の勉強は最低限必要です。また、苦手な教科のある人は、病気の治療と同じように根気よく取り組む必要があります。だからこそ、勉強だけは計画を立てて強い意志で取り組んでください。

夏休みの細かい点については、担任の先生から注意があったと思いますが、大まかに言うと



○命を大切にする ○健康に留意する ○保護者に心配をかけない

何かあればすぐに担任の先生(学校 791-1225)に連絡をとってください。

ならぬことはならぬもの



我が家の隣に、5歳と3歳の子どもがいる4人家族が住んでいます。日曜日に時々、父親が子どもを叱る大きな声が聞こえてきます。「なんで、なんでだめなの」「だめなものはだめ!」。この若い父親の叱り方から、会津藩の幼年教育の基本「ならぬことはならぬもの」を思い出しました。

人権と自由が認められ、個性が尊重され、自分なりの発想や表現、行動が認められることは素晴らしいことであり、今後もそう在り続けてほしいと思います。しかし、だからといって「何でもあり」でよいものでしょうか。新しい学習指導要領の道徳では次のようなことが重視されることになりました。「人間が、人間として生きていくために、してはならないことがある。それは絶対にしてはならない」(小学校)、「したほうがよいこともできる。自分だけの都合ではなく、みんながうまくいくように考えたり行動したりできる」(中学校)、小学生の基礎の上に立って、さらに高い道徳的価値を中学生に求めています。

生徒の皆さんは、このことを自覚して考え、行動して欲しいと思います。保護者や地域の皆さんには、生徒がそのように成長できるように関心をもち、時には声をかけるなど、ご理解とご協力をよろしくお願いします。